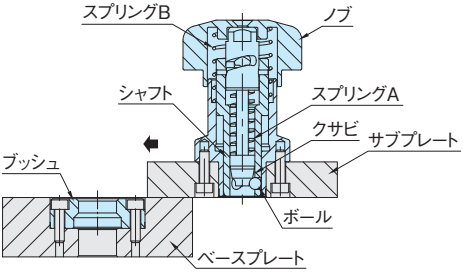
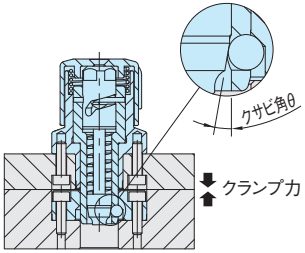
詳細はこちら P. 2242 〜 # ワンタッチフレックスロケーター 自在アプローチの特長と使用方法

特　長

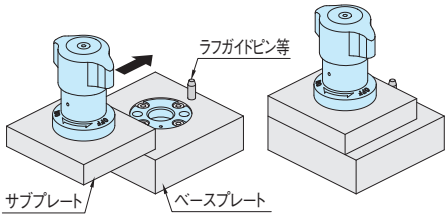


アンクランプ時にシャフトが本体内部に格納されるため、ベースプレートとの干渉がありません。



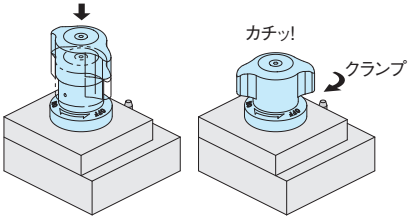
クサビにより、ボールが押し出されてブッシュ内側のテーパー面にあたり、サブプレートが引き込まれます。クサビとスプリングAの組み合わせにより、常に一定の力でクランプできます。

操作手順



①ノブがOFFの位置にあることを確認します。(サブプレートを滑らせアプローチします。)

②サブプレートをラフガイドピン等に当て、ラフ位置決めを行います。

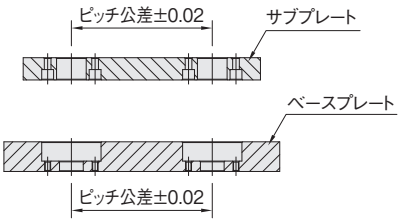


③ノブを押し下げ位置決めを行います。(ベースプレートのブッシュを基準に正確な位置決めができます。)

④ノブを押し下げ、ONの位置に回してクランプしてください。クランプ時、クリック感があります。
※ノブをOFFの位置に回すと、スプリングBの力で自動的にアンクランプ状態に戻ります。

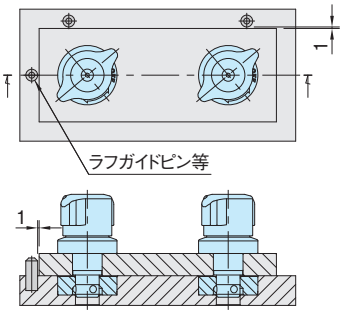
加工精度と繰り返し位置決め精度

■加工精度



■繰り返し位置決め精度

繰り返し位置決め精度は、80μmとなります。



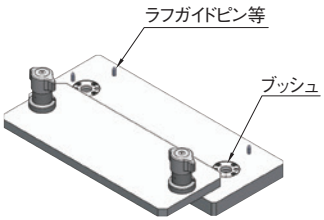
※ラフガイドピン等である程度の位置合わせを行います。ラフガイドピンとサブプレートとの隙間は1mm以内に設定してください。

締付け手順

①ノブがOFFの位置にあることを確認し、サブプレートをラフガイドピン等に当たるまでスライドさせます。
②2ヶ所のノブを同時（または1つずつ）に押し下げ位置決めを行います。
（手を離すとノブは元の位置に戻ります。）
③ノブをクランプ位置まで回し、クランプします。（操作の順番は問いません。）

※アンクランプの際は、ノブがOFFの位置にあることを確認してから、サブプレートをスライドさせてください。

2ヶ所でクランプする場合



4ヶ所でクランプする場合

